



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(米国基準)(連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス  
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 弘展

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	147,247	0.8	11,174	8.8	5,681	61.7	4,342	56.0
2018年3月期第3四半期	148,416	0.4	12,246	17.9	14,833	10.3	9,868	18.3

(注)四半期包括利益 2019年3月期第3四半期 3,565百万円 ( 82.0%) 2018年3月期第3四半期 19,849百万円 (101.8%)

2018年3月期第3四半期の四半期連結損益計算書について、会計方針の変更に基づく組み替えを行っております。詳細については、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	65.33	65.09
2018年3月期第3四半期	144.88	144.40

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益」及び「希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	291,224	229,701	224,917	77.2	3,451.42
2018年3月期	298,534	237,497	232,712	78.0	3,454.40

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		18.00		36.00	
2019年3月期		36.00			
2019年3月期(予想)				36.00	72.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の1株当たり期末配当金は18円となり、1株当たり年間配当金は36円となります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	200,000	2.2	10,000	13.0	13,000	9.0	10,000	2.6	円 銭 150.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細については、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	70,689,042 株	2018年3月期	71,689,042 株
2019年3月期3Q	5,522,453 株	2018年3月期	4,322,121 株
2019年3月期3Q	66,461,009 株	2018年3月期3Q	68,113,218 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 7
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

## ①当第3四半期の業績

当社は、現在の中期（3カ年）経営計画の最終年度となる当期において、事業効率を高める基盤整備の完了とともに、成長が期待できる領域への投資を進めています。国内事業では、卸売事業の組織再編による連携強化と生産性向上、小売事業の収益性改善に努めています。また、オムニチャネルサービスのオペレーション基盤の構築を完了し、部分的な運用を開始しました。海外事業では、自社ECの展開国拡大、他社ECにおける通常価格での販売強化と並行して、百貨店、直営店でのサービス向上を進めています。中国・ASEANの生産拠点では、品質・コストともに競争優位性の高い無縫製商品や材料を供給する体制整備に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日）における連結売上高は、前年同期に比べ1%の減少となりました。国内事業は主力アイテムのブラジャーが10月以降好調な売れ行きを示したものの、パジャマやマタニティインナー、メンズインナー等の苦戦や、夏場の店頭販売の落ち込みが影響し減収となりました。海外事業は中国での成長を背景に増収となりましたが、米国、英国における一部百貨店の経営悪化による在庫調整の影響もあり伸び率が鈍化しました。ピーチ・ジョン事業は減収、その他事業は七彩の工事業がけん引し増収となりました。

連結営業利益は、前年同期に比べ9%減少しました。国内事業は事業効率の向上に伴い売上利益率が改善し、実質的には増益を果しましたが、前年同期に子会社工場用地の退去に伴う補償金収入によって、一時的な利益計上があった反動から減益となりました。海外事業は増収に伴って増益となりました。ピーチ・ジョン事業、その他事業は、ともに営業損失となりました。

連結税引前四半期純利益は、前年同期に比べ62%の減少となりました。これは営業減益に加えて、会計方針の変更（9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（5）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」）に伴った、持分証券の評価損（79億12百万円）の計上に因るものです。

なお、当第3四半期連結累計期間の主要な為替換算レートは、1米ドル=111.14円、1英ポンド=146.34円、1中国元=16.85円です。

●売上高	1,472億47百万円	（前年同期比	0.8%減）
●営業利益	111億74百万円	（前年同期比	8.8%減）
●税引前四半期純利益	56億81百万円	（前年同期比	61.7%減）
●当社株主に帰属する四半期純利益	43億42百万円	（前年同期比	56.0%減）

## ②オペレーティング・セグメントの営業概況

## a. ワコール事業（国内）

株式会社ワコールでは、卸売事業の連携強化と生産性の向上をねらいに、従前のワコールブランド事業本部、チェーンストア事業本部、ウエルネス事業部を、当期から「卸売事業本部」に再編し、小売事業者向けの営業を一元化しています。

卸売事業本部の売上高は、前年同期に比べ3%減少しました。主力アイテムのブラジャーの店頭販売額は、「ワコール」「ウイング」ブランドともに10月以降好調に推移した結果、2%の増加となりました。しかしながら、「ワコール」ブランドで展開するパジャマをはじめとするナイトウェア、マタニティやジュニア向けのインナーが百貨店で苦戦したほか、メンズインナーや「CW-X（シーダブリューエックス）」ブランドも主力の流通チャネルで振るわず売上減少が続く結果となりました。

小売事業本部の売上高は、前年同期に比べ1%の増加となりました。ワイヤレスブラジャー「BRAGENIC（ブラジェニック）」が、引き続き大きく伸ばし全体をけん引しました。反面で、収益性改善の一環としてセール販売の規模を縮小したことや、夏場の自然災害による営業日数減少などが影響しました。

株式会社Ai（アイ）の売上高は、主力の水着事業が最需要期である夏場に苦戦した影響が大きく、前年同期に比べ20%の減少となりました。

以上の結果などから、当該セグメントの売上高は前年同期に比べ3%の減少となりました。

営業利益は、前年同期に比べ6%の減少となりました。卸売事業、小売事業を中心に経営効率を高める取り組みを進めた結果、株式会社ワコールは売上利益率が改善し増益となりました。しかしながら、前年同期には子会社工場用地の退去に伴う補償金収入を計上した一時的な増益影響があったことから、前年同期を下回りました。

●売上高	865億81百万円	(前年同期比	2.9%減)
●営業利益	72億14百万円	(前年同期比	5.5%減)

#### b. ワコール事業（海外）

ワコールインターナショナル（米国）の現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ4%減少しました。EC販売は7%増加しました。一方で、百貨店(実店舗)の店頭販売額は7%の減少と苦戦しました。また、一部百貨店の経営破たんによる閉店や、前年同期に取り扱い百貨店の店舗数の増加に伴う初回納品の上乗せがあった反動も影響しました。

現地通貨ベースの営業利益は、減収の影響やセール販売比率の増加によって売上利益率が低下したほか、EC強化に向けた広告費も増加したことから、前年同期に比べ21%の減少となりました。

ワコールヨーロッパの現地通貨ベース（英ポンド）の売上高は、前年同期並みとなりました。主力の英国では一部百貨店の経営悪化を受けて10月以降の受注が鈍化したことから2%の増加にとどまりました。ブランド別にワコールインターナショナル（米国）と販売体制をすみ分ける米国では、EC販売が好調に推移したほか、有力百貨店における販促策が奏功し6%の増加となりました。他方、フランスで売上が大きく落ち込んだことや、不採算の直営店閉鎖を進めたことが売上の減少に影響しました。豊満体型女性向けブランド「elomi（エロミ）」は下着・水着合わせて17%の高い成長性を維持しています。

現地通貨ベースの営業利益は、セール販売の縮小に向けた取り組みや英国での希望小売価格の見直しなどによる売上利益率改善が寄与し、前年同期に比べ26%の増加となりました。

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ9%増加しました。春節、婦人節、七夕節などの需要期の販促強化が奏功し購買客数が増加した結果、百貨店の店頭販売額は2%増加しました。また他社ECを通じた売上高は広告の追加投入や物流体制の増強と合わせて、需要期の販売強化を図ったことにより47%伸長しました。

現地通貨ベースの営業利益は、前年同期に比べ22%の増加となりました。販売強化に向けた広告宣伝費や人件費は増加したものの、増収効果やEC販売比率の拡大による売上利益率の改善が寄与しました。

これらの結果、邦貨換算後の当該セグメントの売上高、営業利益は、ともに前年同期を上回りました。

●売上高	399億24百万円	(前年同期比	1.5%増)
●営業利益	41億6百万円	(前年同期比	4.4%増)

#### c. ピーチ・ジョン事業

当該セグメントの売上高は、前年同期に比べ1%減少しました。国内の売上高は自社ECを通じた通販事業では前年同期並みに推移したものの、店舗事業では話題性や顧客サービスでの魅力が不足したことなどから入店客数が減少し、第3四半期累計期間の9カ月連続で前年同月実績を下回る結果となりました。一方、イベントやブログを活かしたブランド認知の拡大が進む台湾の売上高は、店舗、自社ECともに好調に推移しており前年同期比44%の増加となりました。

営業利益は、競合の攻勢による中国事業の伸び率鈍化と、国内における減収の影響に加えて、店舗事業再生に向けた人材確保や処遇見直しに関わる人件費の増加、本社オフィス移転に伴う一時的な費用の発生を受けて、営業損失となりました。

●売上高	80億12百万円	(前年同期比	1.1%減)
●営業損失	29百万円	(前年同期は営業利益	5億12百万円)

## d. その他

ルシアンの上高は、前年同期に比べ10%の減少となりました。主力のインナーウェア事業が大手量販店PBの採用品番数の縮小などにより前年同期に比べ13%減少したほか、マテリアル事業、アート・ホビー事業、アパレル事業ともに振るわず前年同期を2桁下回りました。

七彩の上高は、前年同期に比べ27%の増加となりました。大手百貨店の本店改装のほか、新規の内装工事受注の拡大などによって、工事事業は前年同期に比べ43%増加、物販事業は22%増加しました。

これらの結果から、当該セグメントの上高は前年同期に比べ8%の増加となりました。

営業利益は、七彩が増収効果で増益となりましたが、ルシアンの上高を補うには至らず、当該セグメント合算では営業損失となりました。

●売上高	127億30百万円	(前年同期比 7.9%増)
●営業損失	1億17百万円	(前年同期は営業利益 1億68百万円)

## (2) 連結財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、時価下落による投資の減少や売掛債権の減少などにより、前連結会計年度末に比して73億10百万円減少し、2,912億24百万円となりました。

負債の部は、買掛債務の減少や繰延税金負債の減少があったものの返金負債の計上などにより、前連結会計年度末に比して4億86百万円増加し、615億23百万円となりました。

株主資本は、四半期純利益を計上した一方、配当金の支払や自己株式の取得などにより、前連結会計年度末に比して77億95百万円減少し、2,249億17百万円となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.8%減少し、77.2%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して7億20百万円減少し、287億67百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益44億96百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、133億25百万円の収入（前年同期に比し5億98百万円の収入減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、持分証券の売却などによる収入に対して、定期預金の増加や有形及び無形固定資産の取得による支出が上回り、34億77百万円の支出（前年同期に比し11億75百万円の支出減）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式の取得などにより、107億54百万円の支出（前年同期に比し12億13百万円の支出減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2018年5月15日に公表した連結業績予想から変更ありません。また、持分証券の評価損益による変動影響は、連結業績予想には織り込んでおりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	29,487	28,767	△ 720
定期預金	4,296	5,704	1,408
有価証券	1,567	559	△ 1,008
売掛債権	25,873	21,442	△ 4,431
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,459	△ 205	2,254
たな卸資産	42,676	43,395	719
返品資産	—	1,474	1,474
その他の流動資産	4,372	5,693	1,321
流動資産合計	105,812	106,829	1,017
II. 有形固定資産			
土地	21,561	21,552	△ 9
建物及び構築物	73,618	73,850	232
機械装置及び工具器具備品等	18,268	18,930	662
建設仮勘定	254	396	142
	113,701	114,728	1,027
減価償却累計額	△ 59,368	△ 61,254	△ 1,886
有形固定資産合計	54,333	53,474	△ 859
III. その他の資産			
関連会社投資	22,512	22,461	△ 51
投資	69,318	61,603	△ 7,715
のれん	16,594	15,918	△ 676
その他の無形固定資産	12,859	13,326	467
前払年金費用	10,178	10,566	388
繰延税金資産	1,194	1,260	66
その他	5,734	5,787	53
その他の資産合計	138,389	130,921	△ 7,468
資産合計	298,534	291,224	△ 7,310

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	7,104	8,197	1,093
買掛債務			
支払手形	1,174	1,493	319
買掛金	11,393	10,298	△ 1,095
未払金	7,053	5,065	△ 1,988
	19,620	16,856	△ 2,764
未払給料及び賞与	7,213	5,562	△ 1,651
未払税金	1,979	2,226	247
返金負債	—	4,021	4,021
その他の流動負債	3,716	5,475	1,759
流動負債合計	39,632	42,337	2,705
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,852	1,803	△ 49
繰延税金負債	17,231	15,166	△ 2,065
その他の固定負債	2,322	2,217	△ 105
固定負債合計	21,405	19,186	△ 2,219
負債合計	61,037	61,523	486
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,765	29,811	46
III. 利益剰余金	172,418	197,152	24,734
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	2,274	1,409	△ 865
未実現有価証券評価損益	27,424	—	△ 27,424
年金債務調整勘定	△ 1,101	△ 1,099	2
V. 自己株式	△ 11,328	△ 15,616	△ 4,288
株主資本合計	232,712	224,917	△ 7,795
VI. 非支配持分	4,785	4,784	△ 1
資本合計	237,497	229,701	△ 7,796
負債及び資本合計	298,534	291,224	△ 7,310



## (2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	148,416	100.0	147,247	100.0	△ 1,169
II. 営業費用					
売上原価	68,341	46.0	67,066	45.5	△ 1,275
販売費及び一般管理費	68,537	46.2	69,007	46.9	470
補償金収入	△ 708	△ 0.5	—		708
営業費用合計	136,170	91.7	136,073	92.4	△ 97
営業利益	12,246	8.3	11,174	7.6	△ 1,072
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	135		200		65
支払利息	△ 10		△ 10		△ 0
受取配当金	1,267		1,365		98
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	203		140		△ 63
有価証券・投資評価損益(純額)	4		△ 7,912		△ 7,916
その他の損益(純額)	988		724		△ 264
その他の収益・費用合計	2,587	1.7	△ 5,493	△ 3.7	△ 8,080
税引前四半期純利益	14,833	10.0	5,681	3.9	△ 9,152
法人税等	5,746	3.9	1,980	1.4	△ 3,766
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	9,087	6.1	3,701	2.5	△ 5,386
持分法による投資損益	826	0.6	795	0.5	△ 31
四半期純利益	9,913	6.7	4,496	3.0	△ 5,417
非支配持分帰属損益	△ 45	△ 0.1	△ 154	△ 0.1	△ 109
当社株主に帰属する四半期純利益	9,868	6.6	4,342	2.9	△ 5,526

## (3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	9,913		4,496		△ 5,417
II. その他の包括損益 — 税効果調整後					
為替換算調整勘定	2,485		△ 829		△ 3,314
未実現有価証券評価損益	7,598		△ 104		△ 7,702
年金債務調整勘定	△ 147		2		149
その他の包括損益 合計	9,936		△ 931		△ 10,867
四半期包括損益	19,849		3,565		△ 16,284
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 100		△ 190		△ 90
当社株主に帰属する四半期包括損益	19,749		3,375		△ 16,374

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)	(自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	9,913	4,496
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	4,033	4,141
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	349	△ 2,282
(3)繰延税金	762	△ 2,199
(4)固定資産除売却損益(純額)	67	△ 96
(5)補償金収入	△ 708	-
(6)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 203	△ 140
(7)有価証券・投資評価損益(純額)	△ 4	7,912
(8)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 330	△ 290
(9)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	2,867	4,372
たな卸資産の増加	△ 434	△ 962
返品資産の増加	-	△ 1,474
その他の流動資産等の増加	△ 368	△ 1,351
買掛債務の減少	△ 1,894	△ 2,717
返金負債の増加	-	4,022
退職給付に係る負債の減少	△ 615	△ 437
その他の負債等の増加	450	284
(10)その他	38	46
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,923	13,325
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 4,158	△ 4,327
2. 定期預金の減少額	3,026	3,079
3. 持分証券の売却及び償還収入	394	1,610
4. 持分証券の取得	△ 17	△ 117
5. 負債証券の償還収入	460	677
6. 負債証券の取得	△ 1,385	△ 567
7. 有形固定資産の売却収入	161	265
8. 補償金収入	708	-
9. 有形固定資産の取得	△ 2,422	△ 1,878
10. 無形固定資産の取得	△ 1,450	△ 2,252
11. その他	31	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,652	△ 3,477
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	△ 431	1,205
2. 長期債務の返済	△ 35	△ 38
3. 自己株式の取得	△ 4,007	△ 6,919
4. 当社株主への配当金支払額	△ 7,386	△ 4,811
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 194	△ 191
6. その他	86	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,967	△ 10,754
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	364	186
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 2,332	△ 720
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	33,995	29,487
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	31,663	28,767

## 補足情報

現金支払額		
利息	11	11
法人税等	5,424	4,708
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	562	519

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

① 収益認識

当連結会計年度より、顧客との契約から生じる収益に関する規定（ASU2014-09、2016-12）を適用しております。この規定は、企業が顧客との契約で引き渡した財またはサービスとの交換で得られると見込まれる金額を収益として認識することを要求するものです。この規定が当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローに与える影響は軽微であります。なお、この規定の適用により、前連結会計年度まで流動資産の「返品調整引当金及び貸倒引当金」に含めて表示していた返品に係る負債について、当連結会計年度より流動負債の「返金負債」として計上するとともに、返品される商品を回収する権利を流動資産の「返品資産」に計上しております。

② 金融商品の認識と測定

当連結会計年度より、金融商品の認識と測定に関する規定（ASU2016-01、2018-03）を適用しております。この規定は、持分証券（持分法投資及び連結される投資を除く）を公正価値で評価し、その変動を純損益において認識することを要求するものです。この規定の適用により、2018年3月期においてその他の包括損益累計額として認識していた持分証券に係る税効果調整後の未実現利益 27,320 百万円と、これまで取得原価で評価していた市場性のない持分証券に係る税効果調整後の未実現利益 514 百万円を、期首の利益剰余金への累積影響額として調整しております。

③ 期間年金費用

当連結会計年度より、期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示に関する規定（ASU2017-07）を適用しております。この規定は、期間年金費用及び期間退職後給付費用のうち勤務費用以外の構成要素をその他の収益・費用として計上することを要求するものです。また、この規定は遡及適用されます。この規定の適用により、前第3四半期連結累計期間において、営業費用から 810 百万円をその他の損益（純額）に組み替えております。この結果、前第3四半期連結累計期間の営業利益が、組み替え前に対して 810 百万円減少しております。

## (セグメント情報等)

## ① オペレーティング・セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業(国内)	ワコール事業(海外)	ピーチ・ジョン事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	89,181	39,340	8,098	11,797	148,416	—	148,416
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	833	8,127	1,000	3,921	13,881	△ 13,881	—
計	90,014	47,467	9,098	15,718	162,297	△ 13,881	148,416
営業利益	7,633	3,933	512	168	12,246	—	12,246

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業(国内)	ワコール事業(海外)	ピーチ・ジョン事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	86,581	39,924	8,012	12,730	147,247	—	147,247
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	718	8,206	868	4,015	13,807	△ 13,807	—
計	87,299	48,130	8,880	16,745	161,054	△ 13,807	147,247
営業利益(△損失)	7,214	4,106	△ 29	△ 117	11,174	—	11,174

(注) 各事業の主な製品

- ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
- ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品他
- ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マネキン人形、店舗設計・施工他

## ② 地域別情報

前第3四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	108,698	15,632	24,086	148,416
構成比	73.3%	10.5%	16.2%	100.0%
営業利益	8,197	1,597	2,452	12,246

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	106,692	17,007	23,548	147,247
構成比	72.5%	11.5%	16.0%	100.0%
営業利益	7,022	1,885	2,267	11,174

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

## (6) 販売の状況

製品の種類		前第3四半期連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日		増 減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	百万円 112,031	% 75.5	百万円 111,233	% 75.5	百万円 △ 798	% △ 0.7
	ナイトウェア	6,980	4.7	6,500	4.4	△ 480	△ 6.9
	リトルインナー	1,108	0.7	989	0.7	△ 119	△ 10.7
	計	120,119	80.9	118,722	80.6	△ 1,397	△ 1.2
アウターウェア ・スポーツウェア等		12,560	8.5	11,216	7.6	△ 1,344	△ 10.7
レッグニット		1,515	1.0	1,469	1.0	△ 46	△ 3.0
その他繊維製品 及び関連製品		6,502	4.4	7,150	4.9	648	10.0
その他		7,720	5.2	8,690	5.9	970	12.6
合 計		148,416	100.0	147,247	100.0	△ 1,169	△ 0.8